



西前小だより



横浜市立西前小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nishimae/>

相手を知ることで、校長 鳥飼 信幸

2022年1月1日の初日の出を、みなとみらいの臨港パークで第二地区連合町内会自治会会長の西岡さん、自治会長さんのみなさん、スポーツ推進委員のみなさん、自治会のみなさんと、いっしょにみました。海から出てくる荘厳な日の出で、私の方に向かって太陽光がまっすぐに伸びてきている感じがして思わず手を合わせました。毎年、みなさん徒歩で来られラジオ体操をしているそうです。とても寒い日でしたが、みなさん、元気いっぱいでした。「子どもたちをよろしくおねがいします」と、わが子のようにお話いただき、とってもうれしかったです。地域と学校の一体化、“ONE TEAM”を感じました。コロナ禍で、私は帰福（福岡に帰省すること）できなかったのですが、西岡さんに誘っていただき、新年のはじまりにふさわしいよいスタートとなりました。

このようなコロナ禍ですが、高校ラグビーでは101回大会が行われました。私の高校時代とは、格段にレベルが上がっていて高校生とは思えない技術と、気持ちが前面に出た試合ばかりでした。また、仲間を信頼し、自律したチームばかりでした。自ら考え、判断し、行動していました。ラグビー本来の意義を再確認できました。普段の心と体を鍛える努力があったからこそその成果だと思います。そして、本校の重点目標「主体的に考え、判断し、実践する力」を、ラグビーを通して感じました。

私の母校、後輩たちが昨年度、100回記念大会で出場しました。母校は全国制覇6度の高校にいつも県大会決勝戦で負けています。その高校とは私が高校2年から、ずっと負けています。私が高校3年になり対戦し、負けて高校生最後の試合になったことを思い出します。それから約30数年間で一度だけ勝った記憶があるくらいです。

母校は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外での対外試合はできませんでした。そこで、胸を貸してくれたのが、その強豪校でした。合同練習を重ね、全国レベルのスピード、コンタクトに慣れることができ、メンタル面の自信にもつながったようでした。トーナメント戦のくじ引きの結果、縁があるのか、夢の舞台、花園（全国大会）の2回戦で戦うことになりました。一緒に汗を流し、苦楽を共にした

あいて ないしん 相手。内心、対戦をしたくなかったでしょう。ラグビーは、じつりょく 実力がそのまま出る てる きょうぎ 競技です。「勝つ」ということを ことば 言葉では はずする 発するが、「勝てるかな？」と思いがよぎったかもしれません。そして、思いっきりぶつかり ねがえされ 跳ね返され、かんぱい 完敗でした。勝って 恩を返す ほん かえす ことはできませんでした。しかし、しゆくてき 宿敵から 仲間へと かわり 変わり、りすぱくとしあい リスペクトし合い、いつもの たいせん 敗戦とは ちがった 違ったようでした。コロナ禍でありながら、ラグビーを通して、新しい仲間が 生まれ 生まれ、心の せいちょう 成長があったようでした。私の高校時から感じていた 強豪校への意識 も変わりました。私は負けて 悔しいばかりか、負けた げんいん 原因が自分の どりょくぶそく 努力不足にもかかわらず 相手校のせい、他人のせいにして いたことを はず 恥じました。相手は自分たち以上の じょうりょく 努力をきつとしてきたはずです。相手を しらず 知らず、たいわ 対話もせず自分の かって おもいこみ 勝手な思い込みだったことを はんせい 反省しました。

コロナ禍では、子どもたち同士の コミュニケーションが 図れないのではと 心配していましたが、きょり 距離を保ちながら、マスク越しの 声や目での 合図など 工夫し、ともだち 友達の 気持ちに 共感しようとしています。私はマスク越しの 声は 聞き取りにくいのですが、子どもたちは 聞こうとする意識が 高いのか、話している 内容が 伝わっていました。話す人の 気持ちを考えた 行動だと思えます。

コロナ禍であるからこそ、あらためて 改めて自分自身を見つめ直すことができ、創造性をはたらかせ、あらた 新たなことに ちょうせん 挑戦していこうとする 経験ができています。また、想像性をはたらかせ、相手を 思う気持ちが今まで以上に 意識されてきているのではないのでしょうか。母校と強豪校のように、相手を知るために対話をし、新しい仲間が生まれ、リスペクトし合い、心の成長があるようです。私たち大人も見習うことだと思っています。

家庭・地域でもより一層の 新型コロナウイルス感染拡大防止のための 行動をとられていることと思えます。子どもたちはもちろん、保護者・地域の皆様にもご理解ご協力 をいただき、ありがとうございます。また、保護者の皆様には、まいにち 毎日子どもたちの けんおん 検温・たいちょうかんり 体調管理などありがとうございます。感謝申し上げます。今後、行事などの 中止や変更もあります。お弁当の 用意や持ち物の 準備もしていただきながら、校外 学習中止となってしまうこともあります。「子どもたちの健康を守る」と「子どもたちにはぜひ体験してもらいたい」との思いで、判断がぎりぎりになり、連絡が遅くなってしまふことがあります。申し訳ありません。

また、きゅう 急な学級閉鎖もありました。学校の判断を 尊重していただき、あたたかい 温かいご理解に感謝いたします。

す。その日に引き取りをお願いしてご協力をいただきました。「子どものことが心配なんですけど…」と、どうしてもお仕事の都合がつかないご家庭から、お子さんを心配されている連絡がありました。また、きょうだい関係での感染が心配なので、そのご家庭に連絡した時、「きょうだいまで気遣いをさせていただいてありがとうございます」「子どもの健康を第一に考えていただきありがとうございます」など、保護者の皆様の温かい言葉に、私たち職員もうれしくなりました。ありがとうございます。特に電話対応をしている副校長先生が感激していました。「子ども第一」、そして、「子どもが育つ学校」に保護者と学校が一体となっていることを感じました。これもまさしく“ONE TEAM”です。このこともコロナ禍であるからこそ、想像性をはたらかせ、相手を思う気持ちが今まで以上に意識されてきているのではないのでしょうか。

今後も子どもたちとともに私たち職員も感染防止に取り組んでいきます。

引き続き、子どもたちのために、“ONE TEAM”でいきましょう。

学校ホームページへのアクセスはこちらから→



【新型コロナウイルス感染症に関する連絡について】

新型コロナウイルス感染症に関連してお子様ご本人や同居のご家族が PCR 検査を実施した場合、または、濃厚接触者と認定された場合は、必ず学校までご連絡をお願いします。

配布した健康観察表を確認し、毎日の健康観察にご協力ください。

緊急の連絡をメール配信や学校ホームページで行うことがあります。随時ご確認いただくようお願い致します。

※学校関係者に新型コロナウイルス感染が確認された場合は、保護者の皆様はその旨お知らせいたします。